

## 4. 核物質、生物剤、化学剤による攻撃について

### 1 それぞれの特徴

#### ■核物質

- 核兵器を用いた攻撃による被害については、当初は主に核爆発に伴う熱線、爆風などによる物質の燃焼、建物の破壊、放射能汚染などの被害が生じ、その後は放射性降下物(放射能をもった灰)が拡散、降下することにより放射線障害などの被害が生じます。
- 放射性物質を散布することにより放射能汚染を引き起こすことを意図した爆弾(ダーティボム)の爆発による被害は、核爆発ほど大きな被害は生じませんが、爆薬による被害と放射能による被害をもたらします。



#### ■生物剤

- 生物剤は、人や動物を殺傷したり植物を枯らすことなどを目的とした細菌やウイルスなどの微生物及び細菌や動植物が作り出す毒素のことをいい、人に知られることなく散布することが可能です。
- 触れたり、口に入れたり、吸引することで人体に悪影響を及ぼすことから、飲食物及び日用品などへの混入、人体への直接注入、爆発物や噴霧器を使用した散布などが考えられます。
- 発症するまでの潜伏期間<sup>※</sup>に、感染した人々が移動し、後に生物剤が散布されたと判明した場合には、既に広域的に被害が発生している可能性があります。
- ヒトを媒体とする天然痘などの生物剤による攻撃が行われた場合には、二次感染により被害が拡大することが考えられます。

#### ■化学剤

- 化学剤は、その特性により、神経剤<sup>※</sup>、びらん剤<sup>※</sup>、血液剤<sup>※</sup>、窒息剤<sup>※</sup>などに分類されています。一般に地形や気象などの影響を受けて、風下方向に拡散し、空気より重いサリンなどの神経剤は下を這うように広がります。
- 特有においがあるもの、無臭のものなど、その性質は化学剤の種類によって異なります。人から人への感染こそありませんが、比較的早く、目の充血、咳込み、かゆみなどの症状が現れます。
- 触れたり、口に入れたり、吸引することで人体に悪影響を及ぼすことから、生物剤と同様に、飲食物及び日用品などへの混入、人体への直接注入、爆発物や噴霧器を使用した散布などが考えられます。

<sup>※</sup>潜伏期間 …… 病原体に感染してから、体に症状が出るまでの期間

<sup>※</sup>神経剤 …… 麻痺など多様な神経症状を引き起こす化学物質

<sup>※</sup>びらん剤 …… 皮膚に発赤や水疱を引き起こす化学物質

<sup>※</sup>血液剤 …… シアン化水素(青酸)、塩化シアンをいう。血液によって運ばれ呼吸中枢に作用することから、こう呼ばれる。

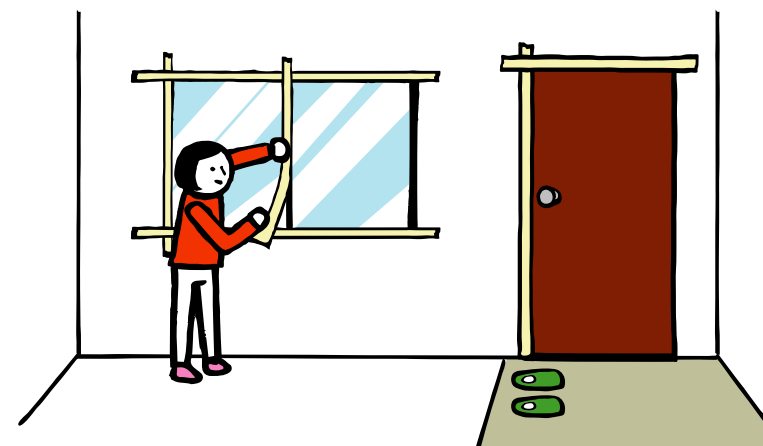
<sup>※</sup>窒息剤 …… 肺水腫など肺に作用し、窒息を起こすことを特徴とする化学物質

### 2 共通する留意点

- 口と鼻をハンカチで覆いながら、その場から直ちに離れ、外気からの密閉性の高い屋内の部屋または風上の高台など、汚染のおそれのない安全な地域に避難しましょう。



- 屋外から屋内に戻ってきた場合は、汚染物を身体から取り除くため、衣類を脱いでビニール袋や容器に入れ密閉しましょう。その後、石けんで手、顔、体をよく洗いましょう。
- 屋内では、窓閉め・目張りにより室内を密閉し、できるだけ窓のない中央の部屋に移動しましょう。



- 安全が確認できるまでは、汚染された疑いのある水や食物の摂取は避けましょう。
- 被ばくや汚染のおそれがあるため、行政機関の指示などにしたがって、医師の診断を受けましょう。